

令和7年度 1学期 学校評価アンケート 教職員用

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない

項目	評価内容	評価 (%)				A+B
		A	B	C	D	
開かれた学校	1 家庭・地域への情報発信(学級だより、ホームページの更新)が行われているか。	92	8	0	0	100
	2 学校と保護者・地域の協力連携が行われているか。	62	38	0	0	100
安心・安全	3 「いじめ」「不登校」などの問題に適切に指導、対応しているか。	92	8	0	0	100
	4 計画的な避難訓練や交通安全指導など安全管理への対応がとられているか。	92	8	0	0	100
豊かな心	5 自ら進んで挨拶し、ことば遣いについて自らも意識し、指導できたか。	67	25	8	0	92
	6 子どもたちを認め励ます言葉かけをしたりしているか。	58	42	0	0	100
	7 思いやりや豊かな心を育む活動や教育に取り組んでいるか。	42	58	0	0	100
	8 読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか。	70	20	10	0	90
	9 地域の自然、人材、文化などを取り入れた体験活動を行っているか。 *ふるさと七尾SDGs教育の推進	42	50	8	0	92
授業改善	10 特別支援教育で、児童のニーズに応じた支援が図られたか。	45	55	0	0	100
	11 児童の見取りや声かけ、わかる授業等で学習意欲の向上に努めているか。	67	33	0	0	100
	12 ロードマップに沿った学力向上に向けた取組が実施できたか。	36	64	0	0	100
	13 一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。	18	55	27	0	73
学習基盤	14 読み・書き・計算など基礎基本の定着に取り組んでいるか。	91	9	0	0	100
	15 家庭学習の内容や方法等具体的に指導し、家庭学習の定着に努めている。	64	36	0	0	100
保健指導	16 学校保健に関する指導(各学年、保健指導を実施)ができたか。	64	36	0	0	100
	17 食に関する指導(各学年で食に関するTT授業を行う)ができたか。	64	27	0	9	91
	18 清掃指導ができたか。(月目標、心づくり、無言清掃、掃除の仕方指導等)	58	42	0	0	100
健やかで たくましい体	19 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	30	60	10	0	90
	20 児童会・特別活動等において生き生きと活動できる取組を行うことができたか。	36	64	0	0	100
教師力向上	21 教職員は、働き方を意識し、業務の効率化に取り組んでいるか。	42	58	0	0	100
	22 服務規律を遵守し児童や保護者・地域に信頼されるように努めている。	75	25	0	0	100
	23 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	69	31	0	0	100

<考察>

全体的にAB評価合わせて100%のものが多かった。

23項目中17項目(項目1、2、3、4、6、7、9、10、11、13、14、15、17、19、21、22、23)

【成果】

- 1.「家庭・地域への情報発信(学級だより、ホームページの更新)が行われているか。」(A 92%)
→学年だよりで定期的な取組を紹介したり、HP担当者が行事や学年の取組ごとにHP更新を積極的に行ったりした結果であろうと思われる。
- 3.「「いじめ」「不登校」などの問題に適切に指導、対応しているか。」(A 92%)
→隔週に児童理解の会を実施し、教職員で共通理解を図った結果であろうと思われる。
- 4.「計画的な避難訓練や交通安全指導など安全管理への対応がとられているか」(A 92%)
→昨年度の反省を活かし、計画的に実施できた結果であろうと思われる。
- 13.「読み・書き・計算など基礎基本の定着に取り組んでいるか。」(A 91%)
→普段からの学習指導や「ばちコン」で合格するまで取り組む指導を根気強く行うことができた結果であろうと思われる。

【課題】

- ▲8.「地域の自然、人材、文化などを取り入れた体験活動を行っているか。」(A42% B50%)
→1学期は、運動会や計画訪問などがあり、積極的に実施できなかったと思われる。
2学期は、ふるさとSDGsの計画を実施したり、総合等で地域人材の活用を図ったりする必要がある。
- ▲12.「一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。」(A18% B55%)
→ネット環境が悪かったため、また効果的な活用場面での使用や委ねる時間を担当が意識していたためだろうと思われる。
2学期は、ICTの効果的な活用の実践を報告するなどの研修を行い、先生方のスキルの向上を図る必要がある。